

■2018年4月コーディネーターニュースより

公共イメージの観点からの奉仕活動

2017年4月号コーディネーターニュースへ、

私は「ロータリーを正しく伝える為に、

まずはロータリーの目的を分かり易く伝えるべき」と記載しました。

「ロータリーの目的」を分かり易く表すと

1. 知り合いを広め奉仕の機会とする⇒新しい仲間を増やして共に奉仕活動しよう。
2. 職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものにする。⇒自分の職業をもっと磨きましょう。自分の職業を磨くには、まずは自分を磨く必要が有ります。つまり自分と自分の職業を磨きましょう。⇒昨今は、職業奉仕について触れる機会が少なくなりました。

「職業奉仕云々より、会員増強と寄付を多くしよう」と声高におっしゃる方も居ますが、私は「会員は自分の基盤である職業をしっかり磨く事がまず大切で、その上に社会奉仕や国際奉仕が有る」事が望ましいと考えています。

3. 社会生活に於いて奉仕の理念を実行する⇒地域社会に於いて、自分個人やクラブが地域に必要な事で周囲(自治体や他の団体)が手を差し伸べていない事業を探し、実行する事と考えます。永年に亘って実績を重ねてきた社会奉仕も、たまには見直ししたら如何でしょうか?⇒始めた時には地域で必要な事で周囲が手を差し伸べていなかった。しかし今では社会情勢が変わり、あまり必要では無くなった、或は周囲も熱心に行っているような場合には、ロータリーは一步下がって、別の案件を探してみる事も必要と考えます。⇒逆に、もっと大々的に続ける必要があるのに、ロータリーだけでは成し遂げる事が出来ない大きな事業になる場合には、他の団体と共同で奉仕する事も考えてみましょう。共同して仕事すると、相手団体の方々にロータリーの事をよく理解して頂けるでしょう。

4. ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する⇒これは言葉の通りですが、今はポリオ撲滅に全力投球。この事をもっとアピールしましょう。

(ロータリー公共イメージコーディネーター第1ゾーン鈴木秀憲)

■那覇RC親睦ゴルフコンペ♪3月度例会 2018年3月31日(土)於:琉球ゴルフ倶楽部



質問:クラブにある同好会とロータリー親睦活動グループって同じですか? 答え:違います。簡単に言うとRI理事会で審査を受け、公式認定されたものがロータリー親睦活動グループ。少なくとも3か国の会員を含んでいること、年に1回はニュースレターを発行し、会員が顔を合わせて交流を図る機会を設けることなど、国、言葉、文化が違う会員たちが長期的に活動していくために必要な事が認定基準として設けられています。

素敵な奥様方も参加されました。次回は6/30(土)開催です。(ロータリーの友2015年6月号より)

週



報

ロータリー:  
変化をもたらす

Rotary: Making a Difference

イアン H.S. ライズリー  
2017-18年度 国際ロータリー会長

平成30年  
4月3日  
2018年  
APR

第2676号

第2800回例会報告  
例会記録・予定

出席報告

会 員 数	75名
出 席 計 算 会 員	75名
出 席	36名
欠 席	39名
出 席 率	48.00%
訂 正 出 席 率	62.67%

欠席会員名 亀川(榮)、親泊、與座、森、上原(義)、中村、湧川(祐)、梶原、吉村、新垣(豊)、平良(健)、平良(修)、木全、新里、三反園、長嶺(善)、保田盛、喜屋武、許田、國吉、具志堅、今福、渡辺、吉橋、下石、新垣(安)、倉林、朱、宜保、井手上、上野、上原(進)、与那覇、真栄城、新垣(竜)、長嶺(国)、川井田、藤井、赤嶺。

MAKE-UP

亀川(榮)、新本、新垣(典)、名嘉、上原(義)、中村、湧川(祐)、東川平(靖)、山城、梶原、与儀、鈴木、松島、杉本、伊志嶺、白石、安里(繁)、菊永<親睦ゴルフ>

ビジター

松寄 英剛 氏 (相模原-RID2780・神奈川県)  
西村 眞一 氏 (那覇東)

☆プログラム

4月10日(火)

「イニシエーションスピーチ」

(株)沖縄ヤマハ 代表取締役 許田 洋 会員

(有)浦添電材 代表取締役 具志堅 興一 会員

4月17日(火)

「那覇RC第10回勉強会」

RID2580 地区研修サブリーダー

根路銘 敦 PAG (那覇東)

4月24日(火)「未定」

那覇RC名誉会員・那覇市長 城間 幹子 氏

5月1日(火)

「イニシエーションスピーチ」

野村證券(株) 那覇支店長 北田 敦司 会員

5月15日(火)「那覇RC第10回勉強会」

RID2580 地区研修サブリーダー

根路銘 敦 PAG (那覇東)

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス [naha-rc@ml.cosmos.ne.jp](mailto:naha-rc@ml.cosmos.ne.jp) HP アドレス: <http://naha-rc.org/>

会長 名嘉 義明 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 山城 博美 副会長/クラブカウンセラー 新城 安雄  
幹事 當間 卓 クラブ会報委員長 新里 哲郎 副委員長 具志堅 興一



## ■ニコニコBOX(\*^^)

### 松寄 英剛 氏 (相模原 RC)

こんにちは。神奈川から参りました。相模原 RC の松寄 (まつぎき) と申します。よろしくお願い致します。

**名嘉 義明 会長** 先週の当クラブゴルフコンペで 15 位でした。にこにこ。

### 安里 政晃 直前会長

4/1 よりエスタジオ小禄オープン致しました。また、同じく県立石嶺児童園の運営を始めました。これからも頑張る決意でニコニコ。

### 菊永 栄一郎 会員

3月31日のロータリークラブコンペで天候とメンバーに恵まれ、優勝させていただきありがとうございます。吉例により優勝賞金 10,000 円ニコニコさせていただきます。

### 杉本 健次 会員

楽しいゴルフ同好会コンペでした。

新垣幹事に感謝。

## ■幹事報告

當間 卓 幹事

\*他クラブ例会休会 ・名護 RC 4/11 (水)

・那覇北 RC・那覇東 RC・コザ RC 4/12 (木)

\*東京丸の内ロータリークラブ認証状伝達式

日時：2018年5月28日 (月) 18:30~20:30受付

式典18:30~19:15 祝宴19:15~20:30

場所：東京ステーションホテル鳳凰の間(千代田区丸の内1-9-1) ☎03-5220-1111 会費：¥25,000

## ■新会員候補者についての通知

理事会で次の方の入会が承認されましたので異議のある方は7日以内に申し出下さい。

氏名：本郷 光一郎 (ほんだ こういちろう) 氏

職業分類：生命保険

職業：第一生命保険 (株) 那覇支社長

**\*4月は母子の健康月間です。**

## ■特別会計 2017~2018年度 ニコニコBOX

前回までのニコニコBOX	¥410,500
本日のニコニコBOX	¥16,000
ニコニコBOX 累計	¥426,500

## ■会長報告

名嘉 義明 会長

\*4月は母子の健康月間 (Maternal and Child Health Month) です。国際ロータリーウェブサイト「2014年10月RI理事会は、4月を重点分野「母子の健康月間」とし、5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間とした」との説明がされております。その活動にはロータリー財団への寄付金が活用されます。皆様のご協力を引き続きよろしくお願い致します。

## ■4月の誕生祝い🍀おめでとうございます。

- 1日 山城 博美 (やましろ ひろみ) 会員
- 8日 森 兵次 (もり へいじ) 会員
- 9日 安里 政晃 (あさと まさあき) 会員
- 10日 碓井 暁 (うすい さとる) 会員
- 15日 吉岡 洋平 (よしおか ようへい) 会員
- 28日 東川平 信雄 (ひがしかわひら のぶお) 会員

## ■波之上うみそら公園清掃活動のご案内



白石武博  
環境保全委員長  
「みんなで綺麗に  
しましよう!」と、

日時：2018年4月15日 (日) AM9:30~

場所：波之上うみそら公園 (那覇市辻3番地)

## ■理事会報告

名嘉 義明 会長

- ①例会場検討委員会よりアンケート結果報告 (会員75名中57名回答) 各ホテル総支配人へ鈴木委員長より質問状をお持ちする。アンケートの詳細は来週お知らせ致します。
- ②東京 RC「東北すくすくプロジェクト」は今年も5万円の協賛金を送金する。(4/3送金済)
- ③桜の植樹は今月行う予定で調整する。

## ■第34回例会 卓話「イニシエーションスピーチ」

シンバホールディングス 代表取締役会長 安里 繁信 会員



「主体性を持った地域づくりを」と、  
安里 繁信 会員

父親が運送業をやっていたので人手不足解消のため入社。当時は年商で1億円もない規模。90年代前半はトラックのハンドルを握る毎日。業界病という価値観だけの社会が目の前にあり、それ以外に興味はなかった。そこから脱運送業を目指して事業を再スタートした。当時はバブルの後半。こうしたら会社を成長させられる、こうしたら会社を潰すという先輩の2つを見た。いなくなった先輩から多くを学んだ。

## 脱運送業で多角化

父親は大きな投資をして展開していくといったタイプではなかった。摩擦もあったが、経営を任せてくれ、28歳から関わってきた。運送業から流通業への転換、広告業へもM&Aで進出し、多角化のきっかけとなり、いろいろなジャンルへ業態を増やした。青年会議所活動を通して仲間ができ、2009年に日本青年会議所の会頭に就任した。

当時、師匠の牛尾治朗さんへあいさつに行ったら「学歴はいらないよな」と言われたので「私もそう思う」と答えたら「俺は東大を出ている。お前が言ったら僻みに聞こえる。悔しかったら学位でもとってみろ」と言われたので、早大の大学院へ入学した。

大学院に通っていた2011年3月1日に東日本大震災が起き、それも私にとっての転換期になった。

その時にコンベンションビューローの会長を引き受けることになった。リーマンシ

ックで570万人弱になった沖縄観光でインバウンドがささやかれ始めたころ。大震災を受け、沖縄観光をどう立て直すために何をすべきか、2年間取り組んできた。沖縄は観光立県だというのが、県の予算8千億のうち、観光については年初で6億円しかなく、積極的経費で使えるのは6億もなかった。

## 海外観光客誘致に取り組む

既得権者の声だけで政策を描くことはあらためるべきであるとして、議論を行った。当時の沖縄観光は52.3%が羽田を利用。羽田だけではなく、アジア全体へ蛇口を広げていこうと、インバウンドへ取り組むことになった。100億円予算を要求し、事務方は前例がないといったが、県議会に認めさせ、一括交付金がスタートするところで、国会でも参考人として説明した。

インバウンドは200万人になった。沖縄経済そのものは成長していく。その中で地元の人間がどこまでかかわっていいのか。ハワイをよく研究する。ハワイの政治経済、社会の真ん中に地元の人はいない。外からの資本で地域を経済植民地にしていくという流れを沖縄は参考にしてはいけない。いい所は取り入れながらも沖縄ならではのエッセンスを取り入れ、主体性を持った地域づくりをしていかないといけない。

経済の本質は消費であり、いかに消費を拡大させていくことができるか。人口が減っていく日本と違って世界には70億人がいる。この大きな市場と向き合っていけないといけない世代が私たちのすぐあとにいる。この世代のために私たちがどんな先を示すことができるのか、それが今経済活動をしている我々のテーマだと思う。文責：石堂 清彦